

校長の話 2 期始業式

「やる気は人を大きくする」

R 6 . 9 . 2

全校の皆さん、おはようございます。皆さん、夏休みは楽しかったですか？
久しぶりにみんなと会えて、校長先生は今とてもうれしい気持ちです。

さて、この夏休みは、世の中でもいろいろなことがありました。皆さんはどんなことに興味を持ったでしょうか。

校長先生は、パリで行われたオリンピックを夢中になってみていました。柔道や体操、バレーボール、陸上、そして馬に乗る競技もありました。今回、日本の選手はどの競技でも大活躍で、海外の大会では過去最多のメダルを獲得しました。素晴らしいかったですね。

たくさんの活躍した場面があったオリンピックでしたが、校長先生が一つ皆さんに紹介したい選手がいます。吉沢恋（よしざわここ）選手です。なんの競技の人かわかりますか。この人は、スケートボードの選手で、今回のオリンピックでは見事に金メダルを獲得しました。

驚いたのは、この吉沢選手の年齢です。まだ14歳、中学生なんです。今6年生は12歳の人もありますよね。その6年生と2歳くらいしか変わらないんですね。大人の人が多く活躍するオリンピックで、中学生が大活躍することに、校長先生はとてもびっくりしましたし、とてもすごいことだと感じました。

この吉沢選手、スケートボードを始めたのは7歳の時だそうです。7歳というと1年生、2年生と同じですよ。お兄さんがスケートボードで遊んでいるのを見て、面白そうだったからやってみたのが最初だそうです。

それからスケートボードの楽しさを感じ、どんどんいろいろな乗り方ができるようになりました。そして6年生の時、東京オリンピックで別の日本人選手がスケボーで金メダルを取ったのを見て、「私もできる」と思い、「3年後のパリオリンピックに出る」という目標を決めました。

ですが、その後、練習ではケガすることも多く、なかなかうまくいかない時もあり、スケートボードをやめて中学校ではテニス部に入ることも考えたそうです。その時、お父さんから、やめるのはいつでもできる、いいのかそれで、と声をかけられ、オリンピックに出るという目標を思い出し、中学生でもスケートボードを続けました。

ある時、恋さんは頭から転んで大怪我をし、記憶喪失になったことがありました。でも目標に向かっていて恋さんは、怪我をする怖さも心を強くして立ち向かい、オ

リンピックの舞台に立ちました。そして見事金メダルを獲得したのです。世界ナンバーワンということですね。でもそこには、目標があり、その達成にさまざまな壁を乗り越えてきた努力があります。中学生ではあるけれど、素晴らしいなと感じました。

しづっ子の皆さんにも、吉沢選手のように今続けていることがある人、それから、まだそういうものがない人、それぞれいると思います。続けているものがある人は、吉沢選手のように、やめなくなる時が出てくるかもしれませんが、目標を持っていれば乗り越えられると思います。

すぐにあきらめないで、目標に向かっていってほしいと思います。まだそういうものがない人は、慌てることはありません。何か、面白そうだな、やってみたいな、と思ったり、感じたりすることが表れた時は、ぜひやってみてください。もしかしたら、それがとても自分に合っていて、一生の宝物になるかもしれません。

「やる気は人を大きくする」

この言葉は、どんなことにも、よし、という気持ちで取り組んだものは、たとえばうまくいかなかったとしても、一生懸命やれたことが、次のやってみように繋がります。あきらめなかったり、自分はできるという気持ちだったり、そういう心がより強くなります。だから、皆さんには、「やってみたい」という「やる気」を大事にしていてほしいと思います。

さて、今日から2期が始まります。夏休みでリズムが戻っていない人もいますが、9月も暑いです。ぜひ、規則正しい生活を心掛けて、明日からも学校に元気に登校してきてください。

2期も、しづっ子みんなで明るく楽しく過ごしていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わりにします。